

令和5年1月31日(火)
市役所第2庁舎601会議室
午後7時30分～

令和4年度第1回小金井市飼い主のいない猫対策推進協議会 次第

- 1 開 会
- 2 報告事項
 - (1) 令和3年度の事業実績について
 - (2) その他
- 3 議事
 - (1) 飼い主のいない猫対策の今後について
 - (2) その他
- 4 次回協議会の日程について
- 5 その他

令和3年度 飼い主のいない猫 不妊・去勢手術実績

(令和4年4月1日現在)

	4			5			6			7			8			9		
	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計
手術数	0	0	0	1	3	4	0	2	2	3	4	7	0	1	1	3	0	3
手術数累計	0			4			6			13			14			17		
助成額	0	0	0	5,000	30,000	35,000	0	20,000	20,000	15,000	40,000	55,000	0	10,000	10,000	15,000	0	15,000
助成額累計	0			35,000			55,000			110,000			120,000			135,000		
予算残額	450,000			415,000			360,000			305,000			295,000			315,000		
執行率	0.0%			7.8%			4.4%			12.2%			2.2%			3.3%		
執行率累計	0.0%			7.8%			12.2%			24.4%			26.7%			30.0%		

	10			11			12			1			2			3		
	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計	オス	メス	合計
手術数	1	7	8	1	0	1	0	0	0	3	0	3	2	1	3	2	2	4
手術数累計	25			26			26			29			32			36		
助成額	5,000	70,000	75,000	5,000	0	5,000	0	0	0	15,000	0	15,000	10,000	10,000	20,000	10,000	20,000	30,000
助成額累計	210,000			215,000			215,000			230,000			250,000			280,000		
予算残額	240,000			235,000			235,000			220,000			200,000			170,000		
執行率	16.7%			1.1%			0.0%			3.3%			4.4%			6.7%		
執行率累計	46.7%			47.8%			47.8%			51.1%			55.6%			62.2%		

オス メス 合計
16 20 36

事業開始以降の手術頭数累計

(単位：頭)

	オス	メス	合計
平成29年度	45	35	80
平成30年度	37	39	76
令和元年度	40	53	93
令和2年度	21	29	50
令和3年度	16	20	36
令和4年度	7	8	15
合計	166	184	350

※令和4年度は12月末現在

令和4年度第1回小金井市飼い主のいない猫対策推進協議会
会議録（要約版）

日 時：令和5年1月31日（火） 午後7時30分～午後8時30分
場 所：市役所第二庁舎6階601会議室
出席者：田丸委員、鈴木委員、木村委員、渡部委員、鷹取委員
（事務局）環境政策課 岩佐課長、荻原専任主査

1 開会

2 報告事項

(1) 令和3年度の事業実績について

令和3年度の手術実績は、オス16頭、メス20頭の合計36頭であった。
令和4年度は、事業を始めて6年目となり、令和4年12月末現在で累計350頭となっている。

(2) その他

特になし

3 議題

(1) 飼い主のいない猫対策の今後について

手術実績を報告したが、その数に併せて相談や苦情件数も減ってきている。先日、新聞にある獣医師の記事が載っていた。その獣医師は、事故で怪我をした猫を引き取って飼うことにしたことから地域猫活動に興味を持ち始め、世の中からこのような不幸な猫を減らそうと今ではTNRをするために全国を駆け回っているとのことだった。その獣医師曰く、飼い主のいない猫を減らすには、迅速に手術しなければならないし、止めてしまうとあっという間に増えてしまうので、長く続けていくことが重要だと言っていた。確かにと納得する一方、小金井市は手術頭数が減ってきて良かったと、このまま静観していて良いものかという思いを持った。今後、飼い主のいない猫対策をどのように推進していったら良いのか、ご意見を伺いたい。

猫は感受性が高い動物と言われているので、ボランティアさんにはたくさん触ってほしいと思っているが、SFTS（ウイルス感染症）や猫ひっかき病のこともあるので、そういう危険があることをボランティアの方に周知した方が良い。

ボランティア会議などの際に情報提供していく。

地域猫活動を知らない市民も多いと思うので、市報等で周知していく必要がある。

年に2回、市報には掲載している。他にはホームページに掲載している。

2月に広報掲示板100か所に掲示予定である。

手術費用の支出が減っているのなら、その費用を保護・譲渡に回せないだろうか。小金井市の飼い主のいない猫が減ってきているのは、ムサコ猫の会の役割が大きい。すでに200頭以上の譲渡をしている。しかし、その猫にかかっている費用は、すべてボランティアが負担している。

飼い主のいない猫対策としては、地域猫活動と保護・譲渡活動があるが、市は地域猫活動を選択した経緯がある。簡単には変えられないが、地域猫活動は過渡期に差し掛かっていると思われる。他市の状況も調べた上で、今後、検討していく。

金銭的に難しいのであれば、譲渡会の広報等を市でも行ってもらうことはできないだろうか。ボランティアだけでは限界がある。市報や市のホームページで広報してもらえれば、効果が全然違う。チラシにも小金井市と協働と記載できればすごく良い。

それも現在、市は地域猫活動を選択して推進している以上、難しい。

高齢者で施設に入るため飼えなくなった等の相談が多くなった。そういう猫も譲渡会に出せたら良いと考える。

高齢者のペット問題は、東京都も課題として認識している。今後、市町村レベルでも増えてくる問題であると認識している。

市からの補助金はあまり当てにしていない。しかし、小金井市と協働で事業を実施しているとなった場合、市民からの信頼感があると集まる寄付金が全然違うと思われる。むさしの地域猫の会は、武蔵野市からの補助金は50万円くらいだが、市民等からの寄付金は年間1,000万円くらいあると聞く。法人格のある団体でないのにも係わらず、市と協働で事業を実施しているということで効果が絶大である。ムサコ猫の会が飼い主のいない猫を減らしてきているのに大きな貢献をしているのは事実なので、何とか行政の支援を受けられるよう考えてほしい。

今後の検討課題とする。

今まで手術した猫のその後は把握しているのか。

そこまでは、できていない。

その後どうなっているのかまで、把握できるようになると良い。

(2) その他

特になし

4 次回協議会の日程について

令和5年3月28日（火）19時30分から予定している。

5 その他

特になし